

協同組合
金沢問屋センター
告知板

理事会報告

▷7月
第2団地空地に対する加入者について協議

▷8月
来、10周年記念事業について協議
樋田会議所専務理事より駅西地域開発を中心に産業振興策について聞く

▷9月
終末処理場の維持管理費分担基準について検討
故山田名誉理事長の告別式について協議

▷10月
各委員会より行事報告

▷11月
会館を機械警備する事に決定

事務局だより

▷7月
近代化研究会
定例幹事会と7月定例会開催
交通安全、団地内事故急増に対する対策協議

事業委員会
共同発送所の運賃について協議
参議院議員山東昭子氏をまねき、政治経済問題の現況について聞く

総務委員会
問屋湯の管理について検討

労務委員会
勤続3年未満社員研修会
労働条件自主点検結果について協議
第9回納涼盆踊り大会開催

▷8月
近代化研究会
定例幹事会開催しグループ別活動方針について検討、又8月定例会を開催し各グループの今後の勉強テーマ検討

企画開発委員会
新会館建設について検討

総務委員会
終末処理場の維持管理費分担基準について検討

労務委員会
社員研修会、労務対策について検討

建設委員会
今年度建設進捗状況並びに、来年度建設予定企業について検討

厚生委員会
社員園遊会打合せ

▷9月
近代化研究会
定例幹事会を開催しグループ毎の研究テーマ発表
Aグループ問屋センターのビジョン作り
Bグループ求人対策
Cグループ能率給設定方法
Dグループ企業診断の手

法
Eグループ不良債権の防ぎ方

事業委員会
経営研修会について協議

総務委員会
第2団地新規加入商社について検討

労務委員会
大乗寺で3年未満男子社員研修会開催

建設委員会
野球場給水工事の進捗状況、その他について検討

厚生委員会
健康診断、園遊会、ソフトボール大会について協議

交通安全、県交通安全対策課新川氏を講師に「交通事故と損害賠償について」講習会開催
9月21日～9月30日迄秋の全国交通安全運動実施

▷10月
近代化研究会
定例幹事会開催し、福岡流通センター視察と県知事を囲む座談会について協議、10月定例会開催、経営コンサルタント湯沢先生を講師に「経営分析の手法」を勉強、又県知事を囲み今後の県産業構造について。西インターの活用方法及び東インターとの関連バイパスより海側の開発構想と安宅産業跡地の問題について聞く

企画開発委員会
共同発送場賃貸契約更改について協議

総務委員会
会館食堂賃貸契約について検討

労務委員会
女子社員研修について検討

環境整備委員会
不燃物集積所の位置変更について検討

建設委員会
第2団地の道路、公園等の市移管について検討

厚生委員会
第4回社員園遊会開催、第2回ソフトボール大会開催

▷11月
広報委員会
第6号誌発刊について打合せ

近代化研究会
12、13の両日福岡流通センター視察
又、11月定例会を開催し視察報告を行う

事業委員会
社団法人真向法体操普及会、理事長長井洞師を講師に「多忙な経営者のための健康増進法」を聞く

総務委員会
会館を機械警備にする事を決定報告

労務委員会
名鉄丸越浅野部長を講師に女子社員研修会開催

＜編集後記＞

選挙、選挙、よろしく、よろしくの声と共に今年ももう12月、年頭の「今年は登竜の年。今年こそは景気の上昇も」と云われながら、来年は巳年、来年は干支にちなんで、景気もくねくねと横ばいがつづく？代議士諸先生、よろしくたのみますよ。
さて問屋団地ニュースも回を重ねてますます充実、

来年こそは、シリーズ特集、趣味の会報告、投稿等、楽しめる、ニュースにすべく、委員一同がんばっております。よろしく。

協同組合 金沢問屋センター

第6号 1976年12月10日発行
協同組合 金沢問屋センター
発行者 小川 甚次郎
金沢市問屋町1丁目
電話 37-8585

問屋センター
将来のビジョン

協同組合金沢問屋センター
副理事長 室 七 勇

第5号(8月10日発行)の巻頭言に小川理事長の当面の景気動向はゆるやかながら上昇気運に向いつつあるとのことで今後に於ける組合員一同の心構え等をつぶさに述べられておりますから、此度は問屋センター(以下センター)の将来のビジョンについて私見を申し上げたいと思います。

53年迄には東西のインターを結ぶ北陸自動車道の完成、駅西の開発をみるから県、市諸官庁の誘致による副都心としての流通の基幹であるべく当センターの心構えが大切 と思います。

私はセンター開設以来建設委員を致しておりますが、現団地の完成と第2団地の建設に取りかかっており、現在僅かに余剰地を残す段階に入っており、第3団地(第2団地に続く準工業地帯)に延ばして行きたいと思っておりますが、これには土地の高騰が、ネックになっております。又兼ねてからの大ホール付きの新会館設立に一時は商工会議所・県、市にお願いして体育館の併設等も今後に残る問題です、いづれにせよ明年の完成10周年の記念事業にふさわしいものにしたつもりです。

又桜公園の跡地の利用にはテニスコート2面を望んでおります。なお事業面では明10周年を記念し、謝恩大販売大会(産業会館)これには各メーカーの協賛は勿論の事、各業種共挙げての展開が望ましいと思っております。



「ひととき」

金沢問屋センター完成9周年記念
社員園遊会写真コンテスト
金賞 大 桑 盛 雄 (尚和印刷株式会社)

故 山田藤太郎氏を偲ぶ

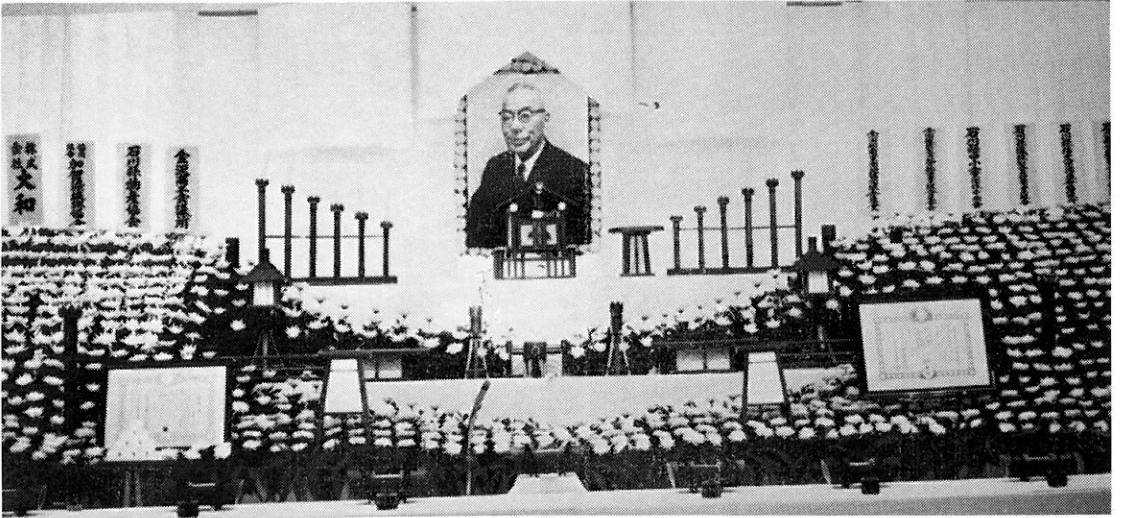


金沢問屋団地設立の功労者である名誉理事長故山田藤太郎氏は本年米寿を迎えられ彼岸の入り9月21日眠るような偉大なる生涯を終えられました。氏の偉大な功績を称えその冥福を祈るため金沢問屋センター、石織株式会社合同告別式が9月25日執り行なわれ、中西知事、岡市長はじめ数多くの朝野の名士が参列、さしもの広い式場も溢れる盛大さで氏の生前の偉大さが偲ばれた。

氏は明治22年4月28日、金石琴平神社宮司鍋木麻佐岐氏の2男として出生された。明治44年12月先代井村氏の媒酌により、片町山田造花店山田藤太郎（先代）の養子として入家された。

こうして山田家入家後優れた近代経営センス、卓越した商才により遂次業績を挙げる一方、早くも若くして金沢市の物産宣伝のため各界代表とともに国内は勿論海外まで出向き、大正4年3月サンフランシスコで開催された万国博に出品者代表として渡米するまでに成長された。

戦時中繊維品は次第に統制や制限が強化され、極めて難しい事態に入るや氏の卓越した才能、手腕が買われ、県市のメリヤス卸組合長、日本繊維卸商連盟会副理事長、全日本メリヤス卸商業組合理事、県繊維製品、統制幹常務等中央にいたるまで欠くことのできない存在となるにいたっていた。



終戦後も県繊維製品統制幹社長に推されていたが、やがてこの会社もGHQの指示により閉鎖されるとの情報をキャッチし、逸早く石川県繊維雑貨協を21年6月17日今町10番地に創立し代表取締役役に就任した。ところでそれは中央の元卸業がひそかに地方卸が指定卸に登録がないとの理由で地方卸を廃除する意見を商工省へ具申ししていた。

藤太郎氏は先頭にたつて地方卸商のための、再三再四商工省へ波状陳情を行ない、さらにGHQにも地方卸の存在の必要性を説明し業界のためとの信念で献身的に文字通り東奔西走の活躍であった。この時の団結と行動力は31年地方卸商連、36年の全地連の組織と結実し初代の会長に推された。

日本経済のめざましい発展は、技術革新、流通機構の変革、貿易、資本の自由化など多くの問題を抱えた激動でもあり、地方卸にとって大きな試練を迎えた。また急激なモータリゼーションもあって、日常業務大きな障害を来した事など、期せずして広大な団地づくり集団化の構想がもたれ、ここに問屋団地 協同組合金沢問屋センターの創立総会が開かれた。しかしながら総会の発足当時の120社もいよいよ工事にかかる辞退商社があいつぎ、さらに41年の不況により脱落が増え、参加商社は94社となった。

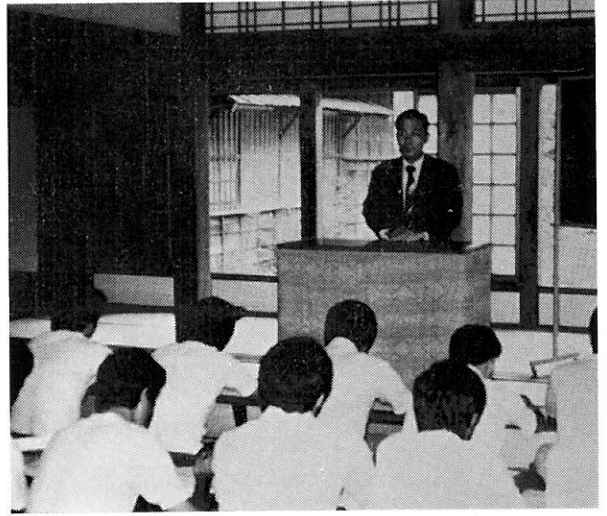
すでに商業団地造成に対する国の助成措置が決った第1回の指定であり新しく藤太郎氏が理事長に選ばれ、全国でも商業団地の造成をめざす11の協同組合が連絡協議会をつくり、初代会長に藤太郎氏が選ばれ事務局を金沢問屋センター内に置いた。幾多の苦難と障害を超え新理事長山田藤太郎氏の持ち前の豪気と纏め役の巧みさによりついに42年10月問屋団地落成式が行なわれ、参加商社101社となった。

47年3月理事長辞退に至るまで、県物産の向上紹介、卸商確確保、中小企業の団結振興に一生を賭けられた。また経済活動の傍ら金沢市消防連合団長、石川県公安委員長、県市物産協会会長、金沢市税務署管内所得調査員など数多くの要職をも兼ね、枚挙にいとまない表彰に輝き、33年4月藍綬褒章、40年4月勲五等双光旭日章を授与の榮譽に浴されたことは当然のことである。

45年3月金沢問屋センター理事長、同年5月石織幹社長を勇退され、功成り名遂げ、静かに余生を楽しんでおられたが先般の逝去となった。

9月21日付を以て従五位、勲四等、瑞光章が追叙されました。

労務委員会



勤続1年以上3年未満の男子社員研修会の実施結果

教育は何より大切だということは誰でも承知しているのだが、これほどむづかしいものはない。個人の教育訓練もさることながら、集団教育はなおさらむづかしいように思われる。9月3日から4日にかけて従来の研修方向を転じて、平素の生活を反省し、自らの心を内省するための修養を目的に、坐禅の道場である大乗寺を選んで標題の研修会が実施されたのであるが、研修に先立って大乗寺の指導僧に指摘されたのは「あいさつができない」という極めて初歩のエチケットが問われたことである。庫院へ迎えに出た僧侶から先にあいさつがあったのに誰も挨拶する者がいなかった。間髪を入れず「なぜ君たちは挨拶ができないのか。こんにちわとか、よろしく願いますとかとなぜ言えないのか」と、終戦後に生れた現代っ子は両親が外で勤める家庭が大半であるから、彼等の幼少における家庭のしつけ教育が欠けていたことにも問題はあろうが、彼等の多くは営業マンとして、得意先へも出かけているはずなのに、人間関係の初歩とも言える挨拶ができないということはどうしたことだろう。大乗寺における1泊2日の研修生活は短期間ではあったが、禅僧のひとときの憩いも見えない精進生活を目の前に見て、反省されることがより多くあったし、挨拶ができないという幼稚園生のような礼儀の欠けていることが問われたことである。

「駅西開発構想」 中西知事と懇談会

近代化研究会 楠 幸雄

過日近代化研究会の特別例会として中西県知事をお招きして駅西地区の開発構想について懇談会をもちましたので、その要旨を簡単に御報告申し上げます。

先ず知事より駅西地区発展の基本となる北陸新幹線について金沢駅周辺の立体高架化を前提として駅西地区の開発を考え、その実現を早く進めたい。しかし第3次全国総合開発計画の中で、2,400kmしか取上られていない工事距離の内、1900kmが現在着工の上越と、東北新幹線にとられ残りの500kmでは北陸新幹線は他線からの申請もあり望みも薄いので3400kmまで増長する様強気に陳情中であるとの事でした。又駅周辺立体高架についてこれまでの計画は犀川一浅野川間でしたが現在は伏見川一浅ノ川間として実態調査の段階だそうです。ついで北陸自動車道は52年秋までに敦賀まで、米原までは53年秋の予定で金沢西と東インターの接続は53年度完成予定との事でした。

次に貨物輸送基地の北陸ターミナル会社を発足させ官民出資で規模は105台が同時に荷捌き出来る様に計画しているが、とりあえず55バースでスタートしたい、この事業は全国でも熊本、福島に次ぐ第3番目のものとなるそうです。将来は附帯設備として倉庫や運転手の宿泊施設も計画し真に流通の陸の港とする構想であると聞きました。

次に安宅産業跡地(90万㎡)利用については切売りのな事はやめ地元に対する影響も考え目下関東関西の加工有力企業を誘致したいと努力中である事を伺いました。

又石川県の産業構造の中でデザイン産業の振興には特に力を入れてゆきたいとの考え方も話しておられました。その他金沢バイパスの交差点高架化を、木越町に向う浅ノ川架橋、金沢港の整備と食品加工業の拡大、能登海浜有料道路の割引率アップ等広範にわたり討論を重ね、最後に我々の要望事項として問屋団地周辺に体育館又はスポーツ総合公園設置をお願いして会合を閉じました。



近代化研究会 会社を見る要因

——経営分析の手法——

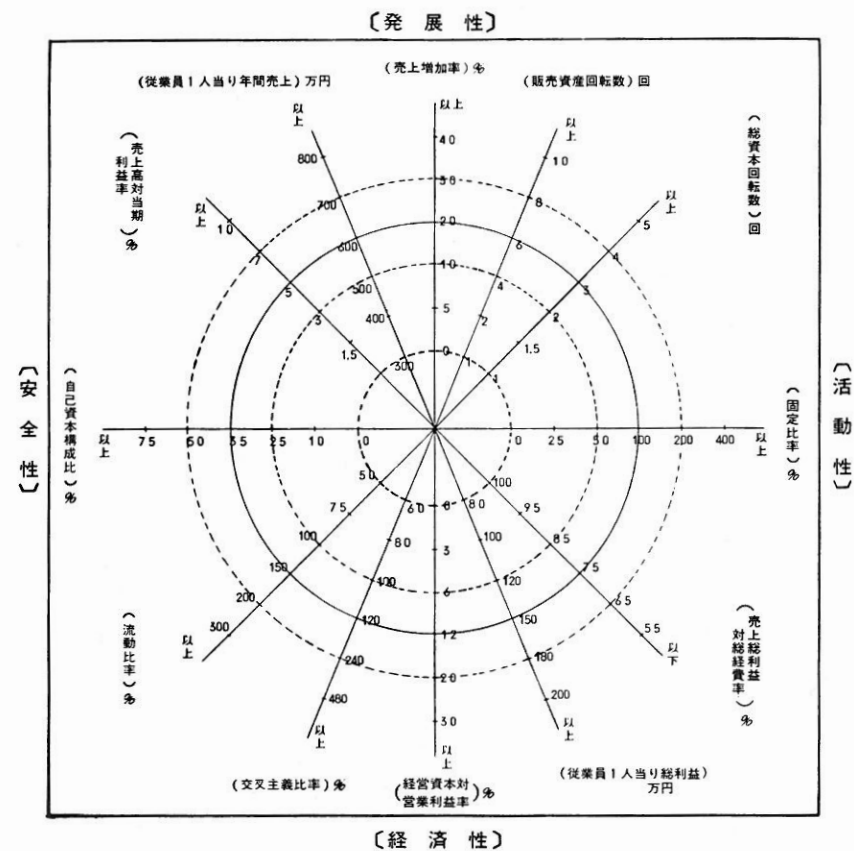
去る10月22日 問屋センター会議室に於て問屋センター近代化研究会の定例会に中小企業診断士湯沢元浩氏を講師に迎えて「経営分析の各種手法」のテーマで勉強会を開いた。今回の企画は、会員5グループ中のDグループの研究課題としている「企業診断」の中から、計数的要因を中心に、企業の顔と言われる財務諸表の見方から経営成績の分析、経営レーダーそして経営状態の判定等に図表を基に研究しあった訳である。財務諸表の分析を比較することから、企業目的である収益性あるいは社会性に関する企業の実態がつかめるのではないのでしょうか。 近代化研究会 矢部 嶺男

<経営成績分析表>

総合	1 経営資本対営業利益率 (%)	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$
	2 経営資本回転率 (回)	$\frac{\text{純売上高}}{\text{経営資本}} \times 100$
	3 売上高対営業利益率 (%)	$\frac{\text{営業利益}}{\text{純売上高}} \times 100$
	4 自己資本対経常利益率 (%)	$\frac{\text{経常利益}}{\text{自己資本}} \times 100$
	5 総資本対経常利益率 (%)	$\frac{\text{経常利益}}{\text{総資本}} \times 100$
財務	6 総資産対棚卸資産比率 (%)	$\frac{\text{材料} + \text{商品} + \text{貯蔵品}}{\text{総資産}} \times 100$
	7 総資本対自己資本比率 (%)	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$
	8 流動比率 (%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
	9 当座比率 (%)	$\frac{\text{現金} + \text{預金} + \text{受手} + \text{売掛金}}{\text{流動負債}} \times 100$
	10 自己資本対固定資産比率 (%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$
	11 固定長期適合率 (%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{長期借入金}} \times 100$
	12 売上高対支払利息率 (%)	$\frac{\text{支払利息} + \text{割引料} - \text{受取利息}}{\text{純売上高}} \times 100$
	13 固定資産回転率 (回)	$\frac{\text{純売上高}}{\text{固定資産}}$
	14 受取勘定回転率 (A) (回)	$\frac{\text{純売上高}}{\text{受取手形} + \text{売掛金}}$
	受取勘定回転率 (B) (回)	$\frac{\text{純売上高}}{\text{受取手形} + \text{売掛金} + \text{受手割引高}}$
15 支払勘定回転率 (回)	$\frac{\text{当期商品仕入高}}{\text{支払手形} + \text{買掛金}}$	
販売	16 売上高対総利益率 (%)	$\frac{\text{総利益}}{\text{純売上高}} \times 100$
	17 売上高対経常利益率 (%)	$\frac{\text{経常利益}}{\text{純売上高}} \times 100$
	18 売上高対純利益率 (%)	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}} \times 100$
	19 商品回転率 (回)	$\frac{\text{純売上高}}{\text{材料} + \text{商品} + \text{貯蔵品}}$
	20 年間売上高 (千円)	

21 従業員1人当り年間売上高 (千円)	$\frac{\text{純売上高}}{\text{常勤役員} + \text{従業員数}}$
22 従業員1人当り総利益額 (千円)	$\frac{\text{総利益}}{\text{常勤役員} + \text{従業員数}}$
23 販売・管理費比率 (営業経費) (%)	$\frac{\text{販売費} + \text{管理費}}{\text{純売上高}} \times 100$
24 販売費比率 (%)	$\frac{\text{販売費}}{\text{純売上高}} \times 100$
25 売上高対広告費比率 (%)	$\frac{\text{広告宣伝費}}{\text{純売上高}} \times 100$
26 売場3.3平方米当り売上高 (千円)	$\frac{\text{純売上高}}{\text{売場面積}} \times 3.3$
労務 27 売上高対人件費比率 (%)	$\frac{\text{役員従業員給料} \cdot \text{福利} \cdot \text{賄費}}{\text{純売上高}} \times 100$
28 従業員1人当り月平均人件費 (円)	$\frac{\text{人件費}}{\text{役員} + \text{従業員数}} \div 12$
29 人件費対福利厚生費比率 (%)	$\frac{\text{福利厚生費}}{\text{人件費}} \times 100$
30 従業員1人当り有形固定資産額 (千円)	$\frac{\text{土地} \cdot \text{建物} \cdot \text{設備}}{\text{役員} + \text{従業員数}}$
其他 31 総利益 (粗利) 対販売費比率 (%)	$\frac{\text{販売費 (除人件費)}}{\text{総利益}} \times 100$
32 総利益 (粗利) 対人件費比率 (%)	$\frac{\text{人件費 (給} \cdot \text{福利} \cdot \text{賄)}}{\text{総利益}} \times 100$
33 総利益 (粗利) 対管理費比率 (%)	$\frac{\text{管理費 (除人件費)}}{\text{総利益}} \times 100$

<経営レーダー図表>



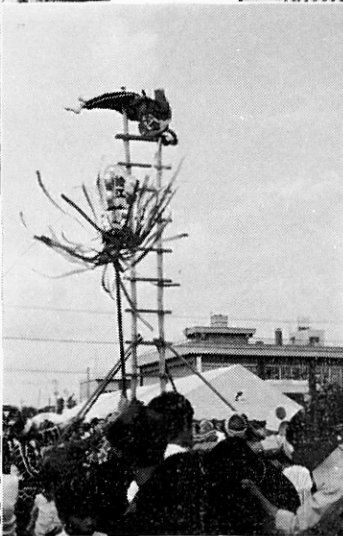
金沢問屋センター 完成9周年記念

社員園遊会

秋もたけなわ、金沢問屋センター完成9周年を迎えての、社員園遊会は10月2日(土)に晴天にめぐまれ、問屋センターA公園を中心に、横通りを、歩行者天国として、団地内の商社員はもとより、話を聞いてかけつけた、近隣の主婦、子供達でにぎわった。当日は婦人会のお世話による、特別価格の果物販売に長蛇の列、諸江消防団による加賀とびの名演技、日頃の練習を、ここを先途と披露するはしご登りに万雷の拍子……、今回より特別企画のミス着物写真コンテストには、日頃腕自慢のカメラマン数十人がA公園に美女4名をめがけて、ほうれつ風景、そのとなりでは問屋センター商社による「のみの市販売大会」は繊維、雑貨、玩具、食料品を特別価格で販売し、また高島易断による手相見などで日頃の仕事をわすれての社員園遊会は笑い声と雑踏の中での楽しい1日でした。



「ないしょ話」
社員園遊会写真コンテスト
銀賞 遠藤典夫 (北陸通信工業㈱)



第9回商社対抗野球大会 小川綽が優勝

5月より開幕していた商社対抗野球大会は、8月12日決勝戦を行い小川綽が優勝を飾った。順位は次の通り。

- 優勝 小川綽
- 準優勝 丸与商事㈱
- 第3位 綽丸昌 石川東芝商品販売㈱
- 最高殊勲選手 町口選手(小川)
- 敢闘賞 杉宮兄選手(丸与)



第2回ソフトボール大会 石川東芝が優勝

昨年より開催したソフトボール大会は今年は10月10日体育の日に問屋センター球場で18チーム参加により開催、あいにくの曇空であったが、日頃の運動不足を取り戻そうと参加選手は、広い球場を思い切り走り回った。決勝は、昨年と同じ顔ぶれとなり石川東芝が接戦の末、昨年優勝の共栄電機をふり切り念願の初優勝を飾った。

- 順位は次の通り。
- 優勝 石川東芝商品販売㈱
 - 準優勝 共栄電機㈱
 - 第3位 綽永井商店 綽前垣商店
 - 最高殊勲選手 戸田選手(東芝)
 - 敢闘賞 西島選手(共栄)

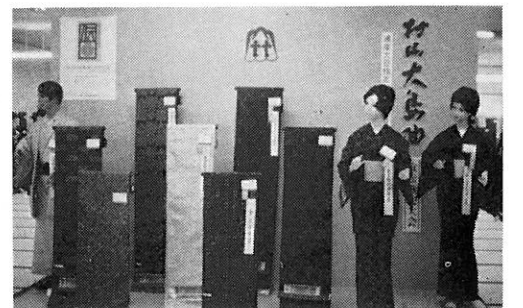


県繊維製品卸見本市開催



第18回県繊維製品卸見本市秋の繊維まつり(金沢問屋センター繊維同業会主催、県、市、後援)が9月6日、3日間の日程で会館ホールをメイン会場に、参加32商社で開催した。1昨年のオイルショック以来続く不況も底をつき景気が回復し始めて石川、富山、福井、3県下をはじめ、岐阜県など遠方からの小売業者で初日からにぎわい、3日間で1300店主が来場、総額15億円の売り上げであった。メイン会場の会館ホールは「加賀友禅競作展」を開催、紋付き、色紋付き、中振りそで、訪問着、絵羽織などを展示し、又有名作家の1本10万円という手がき友禅のネクタイなどの小物や加賀友禅手がき作家の実演を披露し、参加者の関心を集めた。

金沢問屋センター完成9周年 記念特別販売大会 村山大島紬宣伝販売大会



金沢問屋センター繊維同業会では完成9周年を迎えて、10月7、8日両日、「完成9周年記念特別販売大会と村山大島紬宣伝販売大会」を行なった。主催は同業会と村山織物協同組合で、第1会場の問屋町会館ホールには村山大島紬の優秀製品を陳列し、産地より織り娘を呼んで「手織村山大島紬」の制作実演をし、好評を博した。第2会場の各社では秋冬の売れ筋商品を揃えての販売だけに、本格的シーズンを迎えて非常に賑わいをみせた。